



役場加悦庁舎に設置した認知症啓発コーナー

住み慣れた地域で  
安心して暮らしていけるように

## 認知症 コラム

【第18弾】  
「9月は認知症月間」  
「9月21日は認知症の日」

### 認知症への関心と理解を深め、 安心して暮らせる地域へ。

こんにちは、認知症地域支援推進員です。今月号では、「認知症月間」と「認知症の日」についてお知らせします。

皆さんは認知症月間や認知症の日があることはご存じでしょうか。国際アルツハイマー病協会と世界保健機関は、毎年9月を「世界アルツハイマー月間」、9月21日を「世界アルツハイマーデー」として提唱しており、世界各地で認知症に関するイベントや取り組みが行われています。日本も「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」（令和6年1月施行）に基づき、毎年9月を「認知症月間」、9月21日を「認知症の日」と定めています。

与謝野町においても「認知症になってもならなくても、自分らしく幸せに暮らせるまち 与謝野町」を目指し、認知症施策に取り組んでいます。9月の認知症月間に合

わせて、役場加悦庁舎1階ロビート、与謝野町立図書館（本館）に、認知症啓発コーナーを設置しました。

### 当事者から認知症との 向き合い方を学ぶ

9月12日・13日には、丹後保健所などの主催により、野田川わくばるで「若年性認知症支援研修会（オレンジジャック）」が開催されました。39歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断された丹野智文さんによる講演や、丹野さんの人生を描いた映画「オレンジ・ランプ」の上映会などが行われ、認知症について理解を深める機会となりました。

与謝野町では、引き続き認知症に関する啓発などの取り組みを積極的に進めていきます。

問 地域包括支援センター（福祉課内）☎ 43-9021

【広告枠】

## （公益社団法人）宮津与謝広域シルバー人材センター

60歳以上の健康で働く意欲のある方、お気軽にお電話下さい！

☎ (0772) 25-1560  
〒626-0041 宮津市宇鶴賀 2174 番地の1



会員募集中

私達と一緒に働きませんか

高齢者活躍人材確保育成事業 【京都労働局委託事業】

## ALTリレーコラム [第149回 与謝野への感謝 by ゴメス・ライアン・パトリック]

皆

さん、こんにちは。ALTのライアンです。1年間しかたっていないのに、もうすぐお別れの時になってしまいます。まずは、皆さんに心からの感謝をお伝えしたいと思います。

初めて与謝野町に来たとき、新しく何もうまくいかなかった環境の中で、かなり不安がありました。しかし、皆さんが温かく迎え入れてくれたおかげで、その不安はすぐになくなりました。皆さんの親切や思いやりを支えられながら過ごした日々は、私にとって決して忘れられない思い出です。

最初は一人でいることが怖かったのですが、日本で出会ったすばらしい友だちのおかげで、気づいたことがあります。それは、どんなに辛くても、一人じゃないということ。友だちと過ごした時間や旅の思い出は多く、すばらしい思い出を作ることができました。特に、友だちと大好きな任天堂のミュージアムに行ったことは、やはり本当に一人だったらこういうすごいことができなかっただろうと思います。私にとってこういう時間こそが、一生の宝物に

なると思います。

もちろん旅行だけではなく、ALTとして働くことができた経験も、人生の中で特別なものとなりました。それぞれの学校で一緒に働いた方々にも気軽に話したり、考えたりしたことは確かに楽しいことだけでなく、自分の成長の一部です。そして、授業や学校行事を通して、多くのことを学び、皆さんと笑った合ったり、楽しく英語を勉強した時間は、忘れられない思い出になりました。なるべく早く故郷でも、こんな幸せな時間について伝えたいと思っています。

与謝野町は私にとって、本当に第二の故郷となりました。お別れするのはとても寂しいですが、それ以上に感謝の気持ちでいっぱいです。皆さんのおかげで、多くのことを学び、大きく成長することができました。与謝野町で過ごした日々と思い出は、これから先もずっと私の心の中で生き続けることでしょう。皆さんと出会えたことを、心から幸せに思います。必ず与謝野町に戻ってきたいと思っています。またお会いできる日を楽しみにしています。

本当にありがとうございました！



最後まで楽しんで帰ることができました

## あなたの勇気が大切な命を守ります

～ 虐待を「見たとき」「聞いたとき」は通報を～

児童・高齢者・障害者の虐待に気づいた方には通報義務があります。虐待を見たら、聞いたら「よさの虐待ほっとライン（☎ 43-9033）」へ。

※ 休日・夜間は転送となるため、応答にお時間をいただきます

